

自分たちのまちは自分たちでつくろう

ふしおだい

コミュニティ

特別号

保存版

Vol.18

日本初・池田発
地域分権
ふしおだい
コミュニティ誌

発行：ほそごう地域(伏尾台) コミュニティ推進協議会 池田市伏尾台3丁目4-1-114 / 平成 30 年 3 月

2007 (H19)

2008 (H20)

2009 (H21)

2010 (H22)

2011 (H23)

2012 (H24)

2013 (H25)

2014 (H26)

2015 (H27)

2016 (H28)

2017 (H29)

2018 (H30)



AED 設置



防犯カメラ設置



防災備蓄倉庫



公園遊具設置



こども会
こども神輿を新調



地域活性イベント
「山びこ寄席」



伏尾台
コミュニティプラザ
開設

キッズコンサート



子育て支援「フレンズ」



樹木の解説プレート設置



公園づくり座談会



空家対策セミナー



小児科専門医との座談会



より良いまちづくりのために、少しずつ走り続けて10年。

10年を迎えた「地域分権制度」。

今までとこれからの活動についてお話しします。



●青パト(伏尾台安全パトロール隊)の導入および運用
2018年3月現在、約70名の伏尾台住民ボランティアによって1日2~3時間のパトロールを行っています(小学校登校日)。完全なボランティア運営による稼働率としては非常に高いと、市や警察からも評価をいただいています。2014年に大阪府警本部から表彰を受けました。

「自分たちのまちは自分たちでつくろう」をスローガンに、平成19年度にスタートした地域分権制度が10年を経過しました。私たち「ほそごう地域コミュニティ推進協議会(伏尾台地区)」(※以下「コミ協」)の活動も、「子育てにやさしいまち」をめざして、新しい活動のステージを迎えています。今号では、過去10年の活動をふり振り返りつつ、今後の活動計画をご紹介します。

●伏尾台コミュニティプラザ開設

伏尾台コミュニティプラザの略称「コミプラ」は、地域分権を推進するための拠点として平成27年度に開設され、4つの機能を備えた施設として活用されています。お気軽にお立ち寄りください。(開館時間：平日午前10時~午後6時 ※土日祝・年末年始は休館)



- ①子育て支援ルーム
伏尾台の子育て支援サークルが定期的に使用。
- ②フリーサロン「山びこ」
休憩、学習、イベントなど世代を超えた住民交流の場。
- ③まちの情報センター
伏尾台の最新情報やボランティア活動の紹介・募集などを掲示。
- ④コミュニティ推進協議会の事務所
事務作業や各種会合に使用。管理者も常駐。

防犯カメラ設置場所

防犯カメラを6箇所(14台)設置
2010年より随時増設を行い、2018年3月現在6箇所(14台)設置しています。



●落葉の清掃作業~イチョウ並木を「春夏秋冬の道」と命名



2017年11月16日、1丁目イチョウ並木の落葉清掃を、ほそごう学園1~2年生の児童が地域学習の一環として地域住民と一緒にを行いました。集めた落葉は池田北高校の校庭に運び、焼きいもをつくって池北の生徒と一緒にいただきながら、大阪大学の木下修一名誉教授のお話を聞きました。また、この日の共同事業を記念して、その場にいる全員でイチョウ並木を「春夏秋冬の道」と名付けました。

●その他事業

- 地域全体の街路灯、掲示板、AEDの整備および設置
※AEDは上記以外にほそごう学園セラージュにも設置されています(2018年3月現在)
- 久安寺への散策路整備(細河コミュニティ推進協議会との共同事業)など。

安心安全の向上をめざした 第一ステージ (平成19年度~)

まだまだ「安心安全なまち」とは言えなかった10年前。コミ協発足当時は、環境整備が第一のテーマでした。防犯設備やAEDの設置、第一コミセンの改修、公園遊具や掲示板の整備、中央公園のリニューアル計画にも参画。特筆すべき活動は、ボランティアによる安全パトロール隊、通称「青パト」。他地域からも注目される活動で、現在も伏尾台全体の安全を定期的に見守ってくれています。

住民のふれあい向上をめざした 第二ステージ (平成23年度~)

コミ協の事業活動が広がるとともに、地域住民とのネットワーク作りが必要になってきました。そこで、5つの自治会とコミセン管理運営委員会を中心とするメンバーで会議体を構成し、既存の防災防犯委員会、子ども会、夏祭り実行委員会などのメンバーと連携しながら活動支援を行いました。独自の「子育て支援グループ」もこの時期からスタート。さらに子育て支援と、住民の交流、情報発信の拠点として、平成27年度に「コミュニティプラザ」(※通称「コミプラ」)を開設。平日は親子や小中学生が気軽に集い、また土日開催の各種イベントなどで、幅広い地域住民のふれあいの場としてさまざまな賑わいを見せています。

子育てにやさしいまちをめざす 第三ステージ (平成28年度~)

伏尾台地区の課題は、何と云っても少子高齢化。閉校した伏尾台小学校と池田北高校の跡地活用も、このまち再生の大きな命題です。池田市の主導で3年前にスタートした「伏尾台創生会議2020」で創生プランが作成されましたが、そのスローガンが「子育てにやさしいまち宣言」。その宣言を受けて具体的に検討しています施策は、
①バスの減便をふまえた地域内交通の改善
②旧伏尾台小学校の跡地活用の具体化
③地域内公園のテーマ別リニューアル計画の推進
それぞれのプランの取り組みが動き始めています。「子育てにやさしいまち」は、若い人からお年寄りまで住民一人一人が参画することで実現が可能です。皆さまのご支援とご協力をお願いいたします。

ほそごう地域コミュニティ推進協議会(伏尾台地区)の活動内容と組織

平成19年に池田市でスタートした「地域分権制度」ですが、その目的は「自分たちのまちは自分たちでつくろう」というもの。地域住民が自発的に組織として話し合い地域のための事業提案をする、その組織が「コミュニティ推進協議会」です。年間600～900万円*を上限として「予算の提案権」がありますので、より良いまちづくりのためのご意見が必要です。住民の皆さまの多数のご参加をお待ちしています。

*制度の内容や各校区の取り組みは池田市のホームページをご覧ください。

- ◎広域連携事業部：学校関連の支援、イベント開催、広報活動など
- ◎住環境事業部：公園街区の整備、青パト運営、交通問題検討など
- ◎サポート事業部：子育て、保育、住民の健康推進の支援など
- ◎コミプラ事業部：コンビニ交付、情報提供、コミプラの運営管理など
- ◎事務局：情報収集、会議体運営、経費管理など

〔会 長〕 田井恵美子 〔副会長〕 川野芳紀、竹之下恭子
〔事務局長〕 春山俊一 〔会 計〕 内藤健一 〔監 事〕 国重和雄
〔部会長〕 野口 修、竹之下伸治、青木清男、谷口重久

これからの10年に向けて(歴代会長のコメント)

伏尾台の未来のために
大いに期待しています

倉田 晃
(2007～2010 年度会長)

はじめは混乱の中での運営でしたが、あとの会長さんはじめ皆さんのお蔭で年々進化し、今では自治会や子ども会などと連携して立派に運営されていることに感謝しています。これからも伏尾台の未来のために。期待しています。

新しいランドマークを
創生したい

春山 俊一
(2011～2014 年度会長)

旧伏小校舎を活用し「子ども図書館とカフェ」やプレイパークの運営、雑貨店や古着屋等のショップを運営することで、新しいランドマークを創生し、子どもを育み、老いも若きも皆で心からハグを交わすことができる郷にしたいと思います。

子育て世代の
住民増が大きな課題

池山 恵子
(2015～2016 年度会長)

親子が共に友達と出会い、育児相談もしあえる乳幼児向けの常設支援室を運営中です。今後は、更に園児・児童の保護者が望む施設や支援に、耳を傾けての検討が必要です。次世代にバトンを渡すため、協議の輪に是非ご参加を!

伏尾台をゴールドタウン
にしましょう!

田井 恵美子
(2017 年度～ 会長)

地域分権は、5年、10年と活動を積み重ね、ようやく街の変化が見えるものだと思います。数十年先を見据えたビジョンを実行していく地域が、輝きを放つ街になると確信しています。伏尾台をゴールドタウンにしましょう!

ボランティア・スタッフさん募集

青パト隊員さん

子どもたちの登下校の見守り、夜7時ごろの町内パトロールを基本に、1日2～3回の巡回安全パトロールをお願いしています。

1回1時間ほど2名体制ですので、ご夫婦やお友達など気心の知れたお二人での巡回でも結構ですので、どうぞ協力をお願いいたします。

コミプラスタッフさん

コミプラ内のフリーサロンで、1日2～3時間のお世話係さんも募集中です。シフト制ですので、ご都合の良い時間でのご協力をお願いいたします。



お問合せ・お申し込みは

伏尾台3丁目4-1-114 コミプラの常駐スタッフにお申し付けいただくか
ファックス (072-743-6384) にてご連絡ください。

「ご意見ポスト」「募金箱」のご案内

コミュニティ推進協議会へのご入会、ご意見、ボランティア・スタッフさんの参加などにつきましては、コミプラ内の「専用ポスト」または常駐スタッフにお申し付けください。

また、コミプラ内に募金箱を設置しています。コミプラでのイベント等活動に、ご支援ご協力をお願いいたします。